



# 日ごろの備えが命を守る！ 災害時の避難行動を再確認

毎年のように国内で大規模な災害が発生しています。大規模な災害が発生したとき、被害の拡大を防ぐには、自分の身を自分の手で守る「自助」と、近隣の人々が互いに協力しながら防災活動に取り組む「共助」が大切です。では、実際に災害が起きたとき、どのように行動すればいいのでしょうか？いざというときのために、今一度確認しましょう。

問合せ先 危機管理対策課 ☎22-8166

## 避難情報を理解しよう

市は、災害が発生する危険が高まったとき、状況に応じて避難情報を発令します。

### 【避難情報の種類と切迫度】

高	中	低
<p><b>避難指示（緊急）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● まだ避難していない場合は、直ちにその場から避難をしましょう</li> <li>● 外出することによって命に危険が及ぶような状況では、自宅内より安全な場所に避難をしましょう</li> </ul>	<p><b>避難勧告</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 避難場所へ避難しましょう</li> </ul>	<p><b>避難準備・高齢者等避難開始</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 避難に時間を要する人（高齢の方、障害のある方、乳幼児をお連れの方など）は避難を開始</li> <li>● その他の人は、避難準備を整えましょう</li> </ul>

## 緊急情報の入手先を確認 各種情報を集めよう

気象情報や災害時の避難情報などの各種情報の収集は、災害に備える上でとても大切です。市からの緊急情報等を入手する手段は主に次の方法があります。

### ● 防災放送チャンネル (CATV092ch)

市からの緊急放送や気象警報、避難情報などの防災情報を放送しています。

### ● 防災ラジオ

緊急時、自動的に電源が入り、緊急放送を大音量でお知らせします。充電式なので、避難時に持ち出せます。（市民1世帯に1台、無償貸与）

### ● 防災メール（トンポメール）

防災放送チャンネルで放送する内容をメールでお知らせします。事前に登録が必要ですので、tonbo@tonbo.ton21.ne.jp へ空メールを送信し、手続きを行ってください。

## 一家に一台 防災ラジオの設置はお済みですか？



防災ラジオは、災害時の避難所開設情報やミサイル情報などの緊急情報を迅速に知ることが出来ます。市民1世帯に1台を無償貸与しています。未設置の方は、いざというときの備えのためにぜひ申請してください。

**申請方法**  
危機管理対策課（市役所横の防災センター3階）までお越しください。手続き後、その場でラジオをお渡しします。（印鑑をご持参ください。）

### 防災ラジオサービスセンターを開設しています

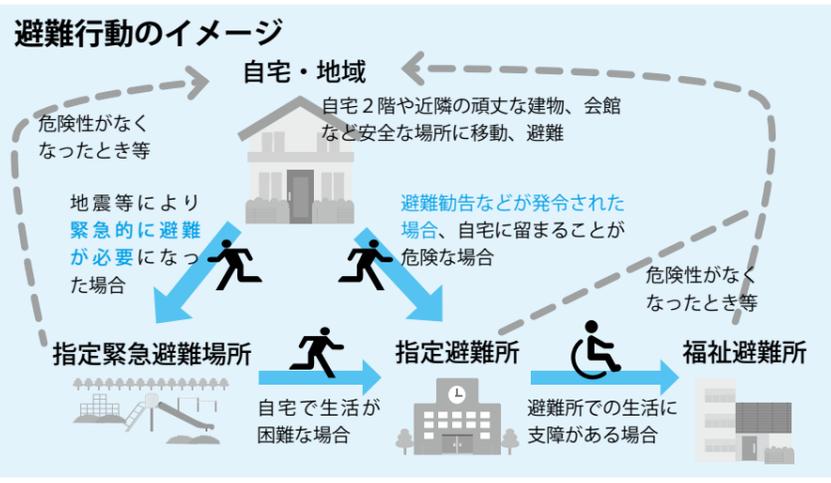


防災ラジオに関する不具合やご質問があれば、お気軽にお問い合わせください。市役所での防災ラジオの受け取りが難しい方への一部配達対応も行っています。

**開設時間** 平日9時～17時  
**問合せ先** 防災ラジオサービスセンター（敦賀FM放送株式会社内）  
☎47・6575

## 避難所を確認しよう

市では、災害時に避難する場所として、指定避難所や指定緊急避難場所、福祉避難所を指定しています。最寄りの避難所や避難経路を確認しておきましょう。避難所などの一覧は、市ホームページや防災ハンドブック（後述）で確認できます。



### ● 指定避難所

災害発生時に、被災者が一定期間滞在できる施設で、市内の小中学校や公共施設を指定しています。また、緊急的に避難する場所も兼ねています。

※市民福祉会館は解体工事に伴い避難所の指定解除となりました。

### ● 指定緊急避難場所

災害が発生し、または発生の恐れがある場合に、身の安全を確保するため緊急的に避難する場所です。一時的に避難する場所であるため、物資等の配備は行われません。

災害の種類（洪水、土砂災害、高潮、地震、津波、大規模火災）ごとに避難場所は異なります。

(例) 三島公園

高潮	土砂	洪水
○	○	×
大規模な火事	津波	地震
○	×	○

### ● 福祉避難所

指定避難所での生活に支障がある高齢者や障害者、乳幼児など、特別な配慮を必要とする方を受け入れる避難所です。

## 防災ハンドブックを活用しよう



谷口防災アドバイザー

「敦賀市 防災ハンドブック2017」を株式会社ゼンリンと協働で発行しました。災害時に注意することや、災害への備えなどについてわかりやすくまとめてあります。各世帯に配布してありますので、一度内容をご確認ください。

## 弾道ミサイル落下時の行動について

北朝鮮は近年、予告することなく弾道ミサイルの発射を繰り返しています。

弾道ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちに到達する可能性があります。ミサイルが日本に落下する可能性がある場合は、国からの緊急情報を瞬時に伝える「Jアラート」を活用して、防災ラジオ等で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報をお知らせします。

### Jアラート

(例) 直ちに避難。直ちに避難。直ちに頑丈な建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。

メッセージが流れたら  
落ちて、直ちに行動してください。

**屋外にいる場合**  
できる限り頑丈な建物や地下に避難する

**建物がない場合**  
物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る

**屋内にいる場合**  
窓から離れるか、窓のない部屋に移動する

**近くにミサイル落下!**  
● 屋外にいる場合…  
口と鼻をハンカチで覆い、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内または風上へ避難する。  
● 屋内にいる場合…換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉する。